

クラブ米山奨学委員長、会長エレクト、幹事、 カウンセラー研修会 報告

米山奨学委員会
副委員長

田中 隆弥

(池田くれはRC)

日 時 2015年7月18日(土) 14時~16時30分
会 場 大阪YMCA会館2階大ホール

2015-16年度 クラブ米山奨学委員長、会長エレクト、幹事、カウンセラー研修会を立野純三G、岩田宙造PG、岡部泰鑑PG、高島凱夫PG、福家宏PG、松本進也GE、片山勉GN、AG、研修委員、危機管理委員長及び各クラブの会長エレクト、幹事、米山奨学委員長、カウンセラー他、総勢約170名の参加のもと開催致しました。

立野Gのご挨拶に続き、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会評議員の岩田PGにご挨拶を頂きました。次に岩津陽介危機管理委員長より青少年ボランティア誓約書について説明がありました。

地区米山奨学委員会福田治夫委員長の挨拶と報告では、まず前年度の当地区の寄付金額が前々年度に比べ増額となり、全国の地区の中で第3位であったことに対して感謝申し上げます。次にバズセッションの2つのテーマについての趣旨説明を致しました。特に世話クラブ複数化(世話クラブ、コ・世話クラブ)については、初めての試みであるため、必ずしも導入に向けてではなく、ヒント集のようなものを作成するための討論であることを強調しました。

30分間のバズセッションの後、10分間の休憩をいただき、約1時間に及ぶ発表コメント(抜粋)は以下の通りです。

【バズセッションテーマ】

★会長エレクト・幹事・委員長グループ
『世話クラブ、コ・世話クラブの導入について』
~全クラブが奨学生受入れに当たり

国籍・性別・学校をこだわらないようにするには?~

- ①奨学期間が2年間の場合、2つのクラブで1年ずつ世話をするのは良いと思う。
- ②奨学生を受入れると、米山奨学事業に対する意識が変わるので、世話クラブ、コ・世話クラブの導入により受入れるクラブが増えることは良いことだと思う。

- ③世話クラブが複数になると奨学生の負担が増えるように思われるので、世話クラブ複数化は反対である。
- ④世話クラブの責任の所在が曖昧になるので、世話クラブは複数にならない方が良い。
- ⑤国籍や性別にこだわることは、ロータリアンとしてふさわしくない。
- ⑥受入れたい国籍と受入れたくない国籍はある。過去に受入れた奨学生が反日運動をしていたので、現在でもその国籍の学生に対して違和感がある。

★カウンセラー・委員長グループ

『奨学生との接し方』

~奨学生の例会出席の奨励方策や

奨学生へ様々な配慮する事項~

- ①ほぼ毎回の例会に出席している。ロータリアンとのコミュニケーション能力も問題ない。
- ②英語しか話せないのので一部の会員しかコミュニケーションが取れない。
- ③食事等で宗教的な問題が出てきているので配慮している。
- ④本人の努力は認めるが、論文作成時期になると多忙となる学生が多い。

質疑応答の後、地区米山奨学部門顧問の高島PGより講評を頂き、本日の研修会を無事終えることができました。国際人材育成事業とも考えられる米山奨学制度の充実のため、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

